

令和3年 1月22日

川崎市長 福田 紀彦 様

川崎市公共事業評価審査委員会  
会長 佐土原 聡

令和2年度第1回及び第2回川崎市公共事業評価審査委員会の審議結果について

令和2年度第1回及び第2回川崎市公共事業評価審査委員会において、次の事案について審議を行いましたので、川崎市公共事業評価審査委員会運営要綱第3条第1項の規定に基づき、その結果を意見を添えて具申します。

1 審議実施事案

- (1) 社会資本総合整備計画「小杉駅周辺地区市街地の活性化（第2期計画）（小杉駅周辺地区 都市再生整備計画）」【事後評価】
- (2) 社会資本総合整備計画「川崎駅周辺地区市街地の活性化（川崎駅周辺地区 都市再生整備計画）」【事後評価】
- (3) 社会資本総合整備計画「川崎市地域住宅等整備計画（Ⅱ期）（地域住宅計画 川崎市地域（Ⅲ期）」【事後評価】
- (4) 社会資本総合整備計画「川崎市住宅・建築物等整備計画（Ⅱ期）（防災・安全）」【事後評価】
- (5) 社会資本総合整備計画「川崎市宅地耐震化推進事業（Ⅱ期）（防災・安全）」【事後評価】
- (6) 社会資本総合整備計画「頼りになる安全・安心なみどりのまちづくり（防災・安全）」【事後評価】
- (7) 社会資本総合整備計画「川崎市内における道路交通の円滑化を促進する道路整備」【事後評価】

2 審議結果

事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、1の7事案の事後評価の内容については、いずれも透明性、客観性及び公正性が確保されており妥当であると判断しました。

また、審議において委員より出された意見を別紙のとおりまとめ、付記します。

## 附 帯 意 見

### (1) 社会資本総合整備計画「小杉駅周辺地区市街地の活性化（第2期計画）（小杉駅周辺地区 都市再生整備計画）」【事後評価】

- 本計画では、まちの賑わいを評価するための指標として、「駅の乗降客数」が設定されているところであるが、武蔵小杉駅においては、混雑緩和が課題となっている現状を踏まえ、次期計画の目標を含め、小杉駅周辺の今後のまちづくり全般の目標として、まちの賑わいを評価するための新たな指標の設定について検討を進めていく必要がある。また、今後は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会状況の変化を的確に捉えながら、まちづくりの効果を適切に評価していくことができるよう、移動することを前提としない新たな視点での指標についても検討していく必要がある。
- 小杉駅周辺の今後のまちづくりにおいては、令和元年東日本台風による水害等を踏まえ、災害に対応した整備を進めていく必要がある。また、緑化の観点を踏まえるとともに、脱炭素化につなげていく視点も持って取り組んでいくことを望む。なお、河川的环境整備については、多様な生態系が生息できる水辺空間の創出のため、整備区間全体を多自然型とするなど、全体の連続性を意識しながら、より効果的に整備を進めていくことを望む。
- 次期計画の評価に向けては、より多くの市民から今後のまちづくりの参考となる意見をいただくことができるよう、市民から直接意見を伺う機会を設けるなど、意見募集の新たな手法について検討していくことを望む。

### (2) 社会資本総合整備計画「川崎駅周辺地区市街地の活性化（川崎駅周辺地区 都市再生整備計画）」【事後評価】

- 次期計画の策定に向けては、新型コロナウイルス感染症の影響による社会状況の変化を的確に捉えながら、事業の効果を適切に評価することができる新たな指標の設定について検討していく必要がある。
- また、次期計画においても、JR川崎駅と京急川崎駅間のアクセス性の向上や、歩行環境の改善に引き続き取り組んでいくことを望む。
- さらに、次期計画の評価に向けては、より多くの市民から今後のまちづくりの参考となる意見をいただくことができるよう、意見募集の新たな手法について検討していくことを望む。あわせて、次期計画の評価の際には、計画期間内の別計画における関連事業も含め、各事業の効果がそれぞれどのように評価指標の実績に現れているのかを十分に分析し、達成状況の要因について、しっかりと示していくよう望む。

### (3) 社会資本総合整備計画「川崎市地域住宅等整備計画（Ⅱ期）（地域住宅計画 川崎市地域（Ⅲ期）」【事後評価】

- 評価指標として設定されている「バリアフリー化された住宅の割合」については、段差のない屋内であること等の5つの要件のうち、いずれかの要件を満たしている住宅をカウントされているが、実際に生活する観点からすると、屋内と屋外があわせてバリアフリー化されていることが重要であると考えられるため、次期計画の評価に向けて、本指標の集計方法等のあり方について検討していくことを望む。

- また、本計画におけるJR川崎駅北口改札や自由通路等の整備の効果を測るために「駅の乗降客数」が設定されているが、「良質な住まいや住環境の形成」という本計画の目標に鑑みると、駅周辺の住民の満足度など、より適切に事業効果を測定可能な指標も考え得ることから、次期計画においては、事業内容とその趣旨に合致した、より適切な評価指標を設定する必要がある。あわせて、次期計画の評価の際には、計画の趣旨・目的と要素事業とのつながりをより丁寧に説明するとともに、計画期間内の別計画における関連事業も含め、各事業の効果がそれぞれどのように評価指標の実績に現れているのかを十分に分析し、達成状況の要因について、しっかりと示していくよう望む。
- さらに、次期計画においては、今後空家の増加が懸念される中で、空家に至る以前の予防的な取組を引き続き推進するとともに、次期計画の評価に当たっては、空家対策セミナーの参加者数や「すまいの相談窓口」の相談件数等を事業の効果として示していくことを望む。

#### (4) 社会資本総合整備計画「川崎市住宅・建築物等整備計画（Ⅱ期）（防災・安全）」【事後評価】

- 次期計画においては、狭あい道路整備等促進事業を引き続き実施し、緊急車両の進入路の確保による安全性向上に向けて、狭あい道路の拡幅整備を着実に促進していくことを望む。また、防災空地の整備については、不燃化重点対策地区における継続した取組とともに、不燃化重点対策地区以外でも火災延焼被害等の課題が大きい地区においては、地域住民との協働により、同様の取組を広げていくことを望む。
- 今後は、台風やゲリラ豪雨による大規模な水害がより頻繁に発生することが懸念されるため、本計画の対象事業ではないものの、川崎市全体の取組として、住宅や建築物等の水害対策にしっかりと取り組んでいくことを望む。

#### (5) 社会資本総合整備計画「川崎市宅地耐震化推進事業（Ⅱ期）（防災・安全）」【事後評価】

- 次期計画においては、今回確立された新たな手法に基づき、滑動崩落の兆候を早期に把握することができるよう、引き続き現地踏査による経過観察の取組を効果的に実施していくことを望む。
- また、第二次スクリーニング調査の実施箇所の住民に限らず、広く宅地所有者へ日頃からの擁壁や斜面地の点検・維持管理について啓発を進めるとともに、擁壁の改修等の工事に対する助成制度についてもあわせて周知していくことを望む。
- さらに、本計画の対象事業ではないものの、川崎市全体の取組として、今後は、切土による造成地の防災対策についても、他自治体における対策状況等を参考にしながら、検討を進めていくことを望む。

#### (6) 社会資本総合整備計画「頼りになる安全・安心なみどりのまちづくり（防災・安全）」【事後評価】

- 次期計画においても、消防機関等の活動拠点や救援物資の集積場所などの災害時の防災機能を備えた施設を整備する際には、災害時にその施設がきちんと機能するよう、引き続き、危機管理担当部署や関係機関と事前に十分に協議・連携し、災害時の実際の運用を見据えた上で、効果的に整備を進めていくことを望む。また、災害時においても活動に必要な電力が確保されていることが重要となることから、自家発電設備の設置などによる非常電源の確保等の充実を図っていくことを望む。
- なお、本計画は、防災・安全交付金における事業であり、オープンスペースの確保が優先される

ところではあるが、一方で、都市公園である富士見公園や等々力緑地については、環境保全や景観形成等の機能もあわせ持っていることから、今後、これらの整備に当たっては、緑化の視点も踏まえて取組を進めていくことを望む。

**(7) 社会資本総合整備計画「川崎市内における道路交通の円滑化を促進する道路整備」【事後評価】**

- 自動車の走行速度の向上は、利便性の向上のみならず、CO<sub>2</sub>排出量の削減にもつながるため、脱炭素社会の実現に向けて、より重要な課題となってくることから、次期計画においても、引き続き移動時間短縮率を評価指標として設定し、その目標達成に向けて、着実に取組を進めていくことを望む。あわせて、次期計画においては、移動時間短縮率に加えて、交差点等の先行整備による局所的な効果を表す指標についても設定していくよう検討を進めていくことを望む。
- また、広域的なネットワークとしての道路機能の強化を図るためには、市内の道路だけではなく、その先につながる他都市の道路についても同時に整備を進めていく必要があることから、引き続き隣接する他都市等と十分に連携を図りながら事業を進めていくことを望む。
- さらに、道路整備事業は、完成までに非常に長期間を要する事業であることなどを踏まえ、次期計画の評価においては、設定した評価指標の結果だけではなく、用地取得の状況など、そこに至るまでのプロセスについても見える化して補足することで、事業の進捗状況をより詳細に示していくことを望む。あわせて、社会資本総合整備計画における取組だけではなく、事後評価に当たっての背景として、その先の市全体としての中長期的な整備計画や目標を含めて、道路整備事業の全体像を示していくことを望む。